

各科にクローズアップ！



整形外科スポーツ外来

整形外科 本田 崇医師

(日本整形外科学会認定専門医、スポーツ医、運動器リハビリテーション医)

市民病院整形外科外来では、

毎週金曜日の午後にスポーツ外来を行っています。この専門外来はスポーツなどによる外傷・障害の診断と治療を行っています。そのなかでも特に力を入れているのが「膝半月板損傷の診断と治療」です。

◆半月板損傷の症状

半月板とは、膝関節の大腿骨と脛骨の間にあるC型をした軟骨の板で、内側・外側にそれぞれあり、クッションと安定性の役割を果たしています。これが損傷すると、膝の曲げ伸ばしの際に痛みやひっかかりを感じたりします。ひどい場合には、膝に水がたまったり、膝が動かなくなる「ロッキング」という状態になり、歩けなくなるほど痛くなることもあります。

◆病状の原因

スポーツなどのけがから生じる場合(若い人に多い)と、加齢により傷つきやすくなってい



ロッキングした
外側半月板断裂のMRI画像



外側半月板切除術の例

る半月板に軽微な外力が加わって損傷する場合(大人に多い)とがあります。また、生まれつき外側半月板が大きい円板状半月板損傷もあります。

◆診断

理学所見およびMRI検査で診断します。単純レントゲン写真では半月板は写らないので、非侵襲性のMRIは半月板損傷の病態や合併する靱帯損傷の診断にも有用です。当院に今年から導入された1・5テスラGE社製MRIは検査時間も短く画像もきれいです。

◆治療

リハビリテーションや抗炎症薬の処方など保存的治療で症状が改善する場合もありますが、改善しない場合やロッキングしているときは手術を

行います。手術は膝関節の内視鏡である関節鏡を用いた手術(1cm程度の長さの創が2か所のみ)を行い、切除術(損傷した半月板を部分的に切り取る)と縫合術(損傷した部位を縫い合わせる)の2種類があります。

当科では手術当日入院し、午後から腰椎麻酔で手術を行います。希望する患者様には、手術途中に関節鏡モニターで膝関節内の所見を説明しています。標準的な手術時間は1時間から1時間半くらいで、2泊3日の入院治療も可能です。

スポーツ外来は完全予約制(金曜日14時30分～15時30分)で行っています。診察希望の患者様は整形外科外来(☎72・1525)で予約してください。

あなたの資格眠っていませんか

臨時職員登録者の募集



市民病院およびそうさぬくもりの郷では、臨時的に職員を雇用する必要がある場合に備えて登録者を募集します。

◆勤務条件

フル勤務【1週38時間45分】
パート勤務【1週38時間45分未満】

◆採用時期

必要に応じて随時

◆登録方法

申請書に必要事項を記入の上、資格・免許が必要な職種については、資格証・免許の写しを添付して下記へ提出し

てください。申請書は、市民病院で配布するほか、市ホームページでもダウンロードできます。

受付期間：随時

問い合わせ・申し込み先：市民病院事務局庶務班〒289-1214 4 匝瑳市八日市場イ1304 番地 ☎72・1525 FAX 72・2926

◆職種および条件

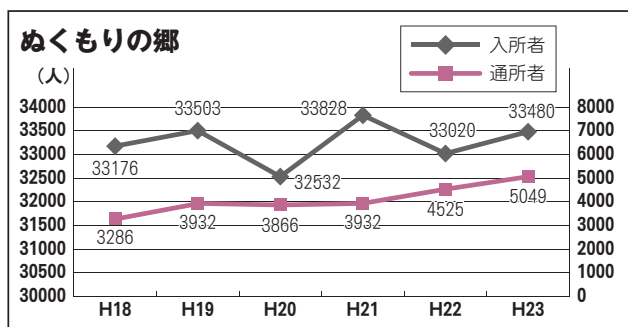
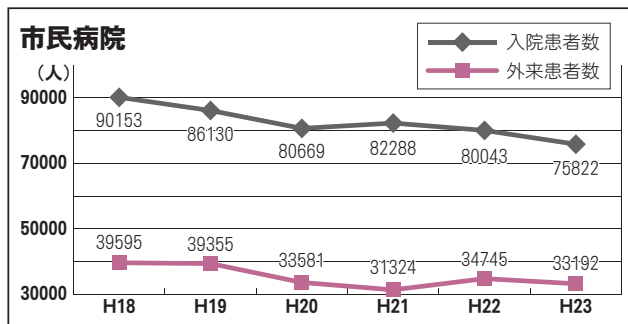
職 種		賃 金	資格
看護職	看護師	時間額 1,200円	必要
	准看護師	時間額 1,150円	必要
診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、管理栄養士		時間額 1,200円	必要
社会福祉士		時間額 1,100円	必要
介護福祉士		時間額 1,050円 ～ 1,100円	必要
ヘルパー	1 級	時間額 1,000円 ～ 1,080円	必要
	2 級	時間額 980円 ～ 1,080円	必要
ケアマネジャー		時間額 1,200円	必要
看護助手		時間額 900円 ～ 920円	不要
一般事務		時間額 900円	不要

※上記の条件については、変更になる場合があります。

平成23年度 病院事業会計決算の概要

1 患者数の状況

病院事業では、整形外科医1名と麻酔科医1名の退職および泌尿器科の休止などにより入院外来患者がともに減少しました。一方、そうさぬくもりの郷は、入所者および通所者ともに増加しました。



2 収益的収支

収益的収支は、病院の経営活動で発生する収益と費用で、収益では、患者数の減少などにより前年度に対して1億814万円減の25億2,969万円、費用は、給与費や経費などの

減少により前年度に対して2,123万円減の26億2,113万円となりました。この結果、収支は、9,144万円の損失となりました。なお、一般会計繰入金を控除した場合の収支は、3億5,859万円の損失となりました。

◆収益的収入および費用

(単位：万円)

	病院事業	介護老人 保健施設事業	合 計
収 益	19億6,164	5億6,805	25億2,969
費 用	20億3,219	5億8,894	26億2,113
収 支	▲7,055	▲2,089	▲9,144
一般会計繰入金 を控除した収支	▲3億1,143	▲4,716	▲3億5,859

3 資本的収支

資本的収支は、将来の経営活動に備えて行う医療機器の購入や施設整備などの支出とその財源としての国県支出金や企業債であります。平成23年度では、MRI室の増築や防火設備の改修工事などを実施したほか、MRIやX線テレビシステムなどの更新を行いました。

◆資本的収入および費用

(単位：万円)

	病院事業	介護老人 保健施設事業	合 計
収 入	3億7,868	4,317	4億2,185
支 出	3億8,302	4,507	4億2,809
差 引	▲434	▲190	▲624



整備されたMRI、X線テレビシステム

病気と治療あれこれ

外来化学療法とタオル帽子

外来化学療法は、入院せずに住み慣れた自宅で生活しながら治療を続けることができるため、当病院でも外来通院をしながら抗がん剤治療を行う人が増えています。治療に使う抗がん剤の種類でも異なりますが副作用が複数出現する場合があります。その中の一つ「脱毛」についてお話します。

抗がん剤治療による脱毛は、目にみえてわかるとてもつらい副作用です。ところが周りからは、「命に関わることではない」とつらさがわかってもらえずに心が傷つけられてしまいます。また、患者さんの中には脱毛することで「自分自身が変わってしまうのではないか」と不安に感じ



る人もいます。つらい治療を乗り越えるためには、「治療がすべて終了すれば、また生えてくる」と気持ちを切り替えて生活することが大切です。

外科外来では、治療による脱毛でつらい思いをしている患者さんのお手伝いが少しでもできればと、タオルで作る帽子(=写真)の作り方や型紙を提供しています。また、ウィッグ(かつら)のご紹介もしています。つらい治療を乗り越えるために、患者さんを中心に医師、看護師、薬剤師などスタッフがサポート体制を整えています。お気軽に声をかけてください。

※このページに関する問い合わせは市民病院☎72-1525へ